



Hewlett Packard
Enterprise

HPE Smart Connect Manager v1.1 リリースノート

摘要

本書には、HPE Smart Connect Manager 1.1 の補足情報が含まれています。

部品番号: 5200-5247
発行: 2018 年 6 月
版数: 1

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise 製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel[®]、インテル、Itanium[®]、Pentium[®]、Intel Inside[®]、および Intel Inside ロゴは、インテルコーポレーションまたはその子会社のアメリカ合衆国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft[®] および Windows[®] は、米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

Adobe[®] および Acrobat[®] は、米国 Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

Java[®] および Oracle[®] は、Oracle および/またはその関連会社の登録商標です。

UNIX[®] は、The Open Group の登録商標です。

目次

HPE Smart Connect Manager 1.1 リリースノート	5
説明.....	5
重要情報.....	5
バージョン履歴.....	5
サポート対象製品.....	5
互換性/相互運用性.....	6
機能.....	7
問題と回避策.....	8
検出.....	8
1088.....	8
1238.....	8
インストール.....	8
899.....	8
IP 管理.....	8
568.....	8
1099.....	9
ログイン.....	9
1043.....	9
SCM の復元.....	9
700.....	9
929.....	9
1118.....	9
サーバー管理.....	10
332.....	10
573.....	10
957.....	10
1075.....	10
1107.....	10
1308.....	10
サポートダンプ.....	11
1117.....	11
スイッチ管理.....	11
1162.....	11
トポロジ.....	11
994.....	11
1295.....	11
VMWare.....	11
895.....	11
HPE セキュリティポリシー	12
セキュリティ報告書の検索.....	12
セキュリティ報告書サブスクリプションサービス.....	12
Web サイト	13
サポートと他のリソース	14

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス.....	14
アップデートへのアクセス.....	14
カスタマーセルフリペア (CSR)	15
リモートサポート (HPE 通報サービス)	15
保証情報.....	15
規定に関する情報.....	16
ドキュメントに関するご意見、ご指摘.....	16

HPE Smart Connect Manager 1.1 リリース ノート

説明

HPE Smart Connect Manager (SCM)は、サーバーハードウェア、ネットワークハードウェア、およびソフトウェアコンポーネント(ソリューションの展開、設定、および操作を合理化)を統合できる画期的なラックサーバーに適したソリューションです。SCMは、サーバー中心の運用モデルを使用して、マルチラック Pod でサーバーとネットワークを展開および管理するための統一されたシングルインターフェイスを提供します。SCMは、ループフリーのファブリックセーフネットワーク設定を提供する標準ネットワークプロトコルを使用して、既存のネットワークに接続する混合ネットワークドメインで動作するように設計されています。

重要情報

⚠ 警告: スイッチや NIC の構成には、HPE Smart Connect Manager GUI または API インターフェイスを使用する**必要があります**。

Arista CloudVision Portal および HPE iLO Amplifier Pack は、Smart Connect Manager ソリューションの**読み取り専用**コンポーネントとして利用できます。構成や設定の変更は、HPE Smart Connect Manager GUI または Redfish API インターフェイスを使用して完了する必要があります。Arista CloudVision Portal または HPE iLO Amplifier Pack を使用して行った変更は、Smart Connect Manager で同期問題とデータの不整合を引き起こす可能性があります。

バージョン履歴

リリースされているすべてのバージョンは、表で明記されている場合を除き、HPE で完全サポートされます。

バージョン番号	リリースの日付	根拠	備考
1.1	2018-05-31		SCM ソフトウェアの初期リリース。リリースされ、完全サポートされ、Web に掲載。

サポート対象製品

このリリースは、次の製品バンドルに適用されます。

製品番号	説明
P01125-B21	HPE Smart Connect 10/25GbE Balanced Workload Kit
P01126-B21	HPE Smart Connect 10/25GbE Big Data Workload Kit
P01127-B21	HPE Smart Connect 100GbE Fabric Kit
P01128-B21	HPE Smart Connect 25GbE Server Connectivity Kit
P01129-B21	HPE Smart Connect 100GbE Rack Connectivity Kit

互換性/相互運用性

アプライアンスのインストール

- VMware 6.0 with vCenter for Windows

コンポーネント	最小バージョン
Chrome ブラウザー	64.0.3282.186 +
ESXi Host	ESXi Host 6.0 Build 6765062
vCenter for Windows	Build 7037394
vSphere Web Client	Version 6.0.0 Build 6855238
Client Integration Plug-in	6.0.0 Build 6823256
Flash Player	WIN 28,0,0,137

- VMware 6.5 with vCenter for Windows

コンポーネント	最小バージョン
Chrome ブラウザー	64.0.3282.186 +
ESXi Host	ESXi Host 6.5 Build 7388607
vCenter for Windows	Build 7312210
vSphere Web Client	Version 6.5.0 Build 7312210
Flash Player	WIN 28,0,0,126

- VMware Embedded Host Client (ESXi 6.5)

コンポーネント	最小バージョン
Chrome ブラウザー	64.0.3282.186 +
ESXi Host	ESXi Host 6.5 Build 7388607
Embedded Host Client	Version 1.21.0 Build 5724747
Flash Player	WIN 28,0,0,126

- ハードウェア

コンポーネント	最小要件
CPU	16 コア(2.6 GHz) (ハイパースレッディングを含む、つまり合計 16 vCPU が必要)
RAM	56 GB
ディスク	1.704 TB
NIC	外部/企業ネットワークに 10 GbE x 1 および SCM 管理対象ネットワークに 10 GbE x 1

SCM コンポーネントのサポート

- ・ EOS: 4.20.5F
- ・ SPP: 最小バージョン: 2018.03.0
- ・ iLO4: 最小バージョン: 2.55
- ・ iLO5: 最小バージョン: 1.15
- ・ Arista CloudVision Portal: 2017.2.3
- ・ iLO Amplifier Pack: v1.15
- ・ GUI ブラウザー: Chrome (64.0.3282.186 以降)

サーバーのサポートマトリックス

サーバーモデル	iLO のバージョン
ProLiant DL360 Gen9	iLO4 2.55
ProLiant DL360 Gen10	iLO5 1.15
ProLiant DL380 Gen9	iLO4 2.55
ProLiant DL380 Gen10	iLO5 1.15
ProLiant DL385 Gen10	iLO5 1.15
ProLiant DL560 Gen9	iLO4 2.55
ProLiant DL560 Gen10	iLO5 1.15
ProLiant DL580 Gen9	iLO4 2.55
ProLiant DL580 Gen10	iLO5 1.15

サーバーの NIC サポート対象

部品番号	説明	最小ファームウェア要件
817753-B21	HPE Ethernet 10/25 Gb 2 ポート 640SFP28 アダプター	14.18.20.30
817749-B21	HPE Ethernet 10/25 Gb 2P ポート 640FLR-SFP28 アダプター	14.18.20.30
867328-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 621SFP28 アダプター	08.35.04
867334-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 622FLR-SFP28 コンバージドネットワークアダプター	08.35.04
817718-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 631SFP28 アダプター	20.08.0113
817709-B21	HPE Ethernet 10/25Gb 2 ポート 631FLR-SFP28 アダプター	20.08.0113

機能

HPE Smart Connect Manager には、ご使用のネットワークの管理を支援する次の機能があります。

- ・ 承認済みの SCM スイッチと SCM サーバー NIC の自動検出
- ・ SCM spine/leaf ネットワークトポロジの自動展開と検証
- ・ 継続的なサーバー中心の運用モデル
- ・ SCM ケーブル接続とサーバーファームウェアとネットワークファームウェアの検証
- ・ SCM 管理対象機器の継続的な監視
- ・ Arista CloudVision Portal が提供するスイッチテレメトリー
- ・ SCM 管理対象ハードウェアのレポートとインベントリ

問題と回避策

このソフトウェアブランチでオープンになっている既知の問題を次に示します。

「症状」には、この状況がネットワーク上で発生した場合に見られる現象について説明します。「シナリオ」は、環境の詳細とトリガーの要約を追加するものです。回避策がある場合は、「回避策」に問題の回避策を記載します。

検出

1088

症状: スイッチが SCM で検出されない。

シナリオ: スイッチが SCM で検出されず、物理的な接続が正しいことをユーザーが確保している場合、CVP でこのデバイスについて何か誤った設定をしている可能性がある。

回避策: CVP インターフェイスからデバイスを削除するためには、HPE サポートに連絡します。

1238

症状/シナリオ: DCS-7010T-48-R が SCM で検出されない。

回避策: ファンの通気方向をスイッチで変更する必要があります。前面から背面に通気されるようにしてください。詳しくは、<https://www.arista.com/en/qsg-7010-series-1ru/7010-series-1ru-appendix-a-fan-module-orientation> を参照してください。

インストール

899

症状/シナリオ: SCM を VCenter または ESXi のバージョン 6.0 にインストールする際、パラメーターフィールドが、インストール中の GUI で、インストールドキュメントに記載されているのと異なる順序で表示されることがある。

回避策: データをそれに対応するフィールドに入力するよう注意してください。

IP 管理

568

症状: ホスト名、サブネットゲートウェイ、DNS サーバー、ドメイン、外部 IP アドレスが変更できない。

シナリオ: Smart Connect Manager アプライアンスのインストール後、ホスト名、サブネットゲートウェイ、DNS サーバー、ドメインおよび外部 IP アドレスはハードコーディングされていて変更できない。

回避策: Smart Connect Manager アプライアンスを再インストールしてパラメーターを変更します。

1099

症状: IP アドレスが重複していると、デバイスが Smart Connect Manager と通信するための機能に影響する。

シナリオ: ユーザーのデバイスに、静的に設定された IP アドレスがある場合、Smart Connect Manager の DHCP サーバーが、すでに使用されている IP アドレスを発行する可能性がある。その結果、重複した IP アドレスの影響は、デバイスが Smart Connect Manager と通信するための機能に及ぶ。

回避策: SCM ドメイン OOBM ネットワークは、独自のブロードキャストドメイン、独立したネットワークにあり、お客様のネットワークには L3 インターフェイス経由で接続されている必要があります。OOBM サブネットは SCM 専用にする必要があります。

新しい SCM をインストールすると、ドメインのすべてのデバイスが、工場出荷時のデフォルト状態にリセットされます。

ログイン

1043

症状: ユーザーが SCM にログインできない。

シナリオ: 管理者ユーザーがバックアップを復元した後に、ユーザーが SCM にログインできなくなることがある。

回避策: 管理者アカウント(または管理者権限を持つアカウント)を使用して SCM にログインし、ログインできないユーザーのアカウントのパスワードをリセットします。次のログイン時に、ユーザーは好きなパスワードに変更できます。

SCM の復元

700

症状: スイッチの復元が失敗する。

シナリオ: SCM の復元で、スイッチのヘルスステータスアイコンが緑色でない場合、そのスイッチが正常に復元できないことがある。

回避策: SCM を復元する際は、すべてのスイッチのヘルスステータスアイコンが緑色であるようにしてください。

929

症状: 復元後、SCM スイッチが動作状態に戻らない。

シナリオ: SCM の再インストール後、復元機能で SCM スイッチが前の動作状態に戻らないことがある。

回避策: 再インストールでは、SCM 内でスイッチの削除と再設定が必要です。詳細については、HPE サポートにお問い合わせください。

1118

症状: SCM を復元する際、ベースラインファームウェアが復元されない。

シナリオ: SCM バックアップを実行する際、スペースの制約により、バックアップファイルにベースラインファームウェアが含まれない。よって、SCM を復元する際、ベースラインファームウェアが復元されない。

回避策: SCM の復元時に、ベースラインファームウェアを手動でアップロードします。

サーバー管理

332

症状: サーバーハードウェアの電源ステータスに正しい情報が表示されない。

シナリオ: 電源フィールドのサーバーハードウェアの電源ステータス(サーバーハードウェア>概要>ステータスページ)に不正なステータスが表示される。

回避策: 別のページに移動してからサーバーハードウェアページに戻って、電源ステータスを更新します。正しい電源ステータスは、サーバーハードウェア>コネクティビティページの電源フィールドでも表示できます。

573

症状/シナリオ: UID が物理サーバーでトグルされた場合、iLO と iLO アンプとの間の通信が原因で、この更新が SCM 内で 1 時間以上かかることがある。

回避策: 可能な限り、SCM を使用して、サーバーの UID 状態をトグルします。トグルできない場合、反映されるまでには、割り当てられた分の時間がかかると考えてください。

957

症状/シナリオ: Smart Connect Manager を使用してサーバーをアップグレードすることができない。

回避策: サーバーをアップグレードするのに Smart Connect Manager を使用しないでください。アップグレード手順については、サーバーのドキュメントを参照してください。

1075

症状: サーバーの iLO ポート接続が失われると、サーバーヘルスが SCM で正しく更新されない。

シナリオ: サーバーの iLO ポートからの接続が失われると、SCM には当該サーバーとの通信方法がなくなるため、ヘルスステータスを正しく反映できない。

1107

症状: サーバーの電源トグルボタンを選択した場合、サーバーの現在の状態を正確に反映していないのに正常終了をレポートすることがある。

シナリオ: サーバーハードウェア概要の電源ステータスが動的に更新されない。さらに、ユーザーが iLO コネクティビティを失っていて電源トグルボタンを使用した場合、サーバーの電源がオン/オフされなくなり、SCM はアクションが正常終了したとレポートする。

回避策: サーバーハードウェア概要の電源ステータスを正しく表示するには、サーバーハードウェアページから移動してから、再び戻ります。iLO コネクティビティが失われている場合は、物理的に iLO コネクティビティを確認するか、サーバーの iLO ポートの IP アドレスに移動します。

1308

症状: ディスク使用量の統計情報が表示されない。

シナリオ: SCM で、ディスク使用量がクリティカルな段階になると、ディスク使用量の統計や警告が表示されない。

回避策: SCM システムの CLI で、ディスク使用量を手動で確認します。詳細については、HPE サポートにお問い合わせください。

サポートダンプ

1117

症状: サポートダンプの作成を停止したら、サポートダンプファイルが存在しない。

シナリオ: サポートダンプの作成を停止するアクションにより、ダンプファイルの作成がキャンセルされると同時に、以前に作成したダンプファイルがシステムから削除される。これにより、ユーザーにはサポートダンプファイルがない。

回避策: Smart Connection Manager v1.0 でサポートする未処理のサポートダンプファイルは1つだけです。サポートダンプアクティビティがトリガーされると、古いファイルは削除されます。サポートダンプファイルの作成時には、バックアップを取ることが推奨されます。メモリ保護のため、システムには保存されないからです。

スイッチ管理

1162

症状: TOR スイッチが最大 20 分間使用できない。

シナリオ: 管理対象ラックのプロファイルを削除してすぐに再追加すると、場合によっては TOR スイッチの1つが利用可能になるまでに最大 20 分かかることがあります。

トポロジ

994

症状/シナリオ: トポロジ ビューで、サーバーポートの MAC アドレスが重複している。

回避策:

1. トポロジの固定を解除します。
2. MAC アドレスが明確に読み取れるまで、TOR とサーバーを移動します。

1295

症状: トポロジが動的に更新されない。

シナリオ: 別のページに移動してからトポロジページに戻ると、トポロジが更新されない。

回避策: トポロジページのリセットボタンをクリックするか、ブラウザを更新してトポロジが更新されるようにします。

VMWare

895

症状: VMware vCenter Client Integration Plugin が Chrome でロードされない。

シナリオ: VCenter 6.0 を使用して Smart Connect Manager を展開する際、展開に必要な VMware vCenter Client Integration Plugin が Chrome でロードされないことがある。

回避策: <https://kb.vmware.com/s/article/2150369> にあるドキュメントごとに、vCenter 6.0 を Update 3c 以降にアップグレードします。

HPE セキュリティポリシー

セキュリティ報告書は、セキュリティ脆弱性を公開する最初の通知であり、セキュリティ脆弱性についての唯一の通信手段です。

- ・ セキュリティ脆弱性の修正は、マニュアルやリリースノートなどの製品ドキュメントの形式では記載されません。
- ・ セキュリティ報告書がリリースされるのは、脆弱性がありサポート期間内にあるすべての製品について、セキュリティ脆弱性の修正を含むイメージが公開できるようになったときです。

セキュリティ報告書の検索

手順

1. HPE サポートセンター - HPE(<https://support.hpe.com/hpesc/public/home>)にアクセスします。
2. お使いの製品名または製品番号を入力してから、**Go** をクリックします。
3. 結果のリストから製品を選択します。
4. **重要な問題およびソリューション**タブをクリックします。
5. **アドバイザー**、**報告**、および**通知**リンクをクリックします。

セキュリティ報告書サブスクリプションサービス

http://www.hpe.com/support/Subscriber_Choice にサインアップしてサブスクリプションを開始してください。今後の HPE セキュリティ報告書アラートがメールで受信できます。

Web サイト

Networking Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Networking Information Library

www.hpe.com/networking/resourcefinder

Hewlett Packard Enterprise Networking ソフトウェア

www.hpe.com/networking/software

Hewlett Packard Enterprise Networking Web サイト

www.hpe.com/info/networking-ja

Hewlett Packard Enterprise My Networking Web サイト

www.hpe.com/networking/support

Hewlett Packard Enterprise My Networking ポータル

www.hpe.com/networking/mynetworking

Hewlett Packard Enterprise Networking 保証

www.hpe.com/networking/warranty

全般的な Web サイト

Hewlett Packard Enterprise Information Library

www.hpe.com/info/EIL

上記以外の Web サイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

サポートと他のリソース

Hewlett Packard Enterprise サポートへのアクセス

- ・ ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise Worldwide の Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/assistance>

- ・ ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの Web サイトにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

ご用意いただく情報

- ・ テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- ・ 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- ・ オペレーティングシステム名およびバージョン
- ・ ファームウェアバージョン
- ・ エラーメッセージ
- ・ 製品固有のレポートおよびログ
- ・ アドオン製品またはコンポーネント
- ・ 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- ・ 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるソフトウェアアップデート方法を確認してください。
- ・ 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター

<http://www.hpe.com/support/hpesc>

Hewlett Packard Enterprise サポートセンター：ソフトウェアのダウンロード

<http://www.hpe.com/support/downloads>

Software Depot

<http://www.hpe.com/support/softwaredepot>

- ・ eNewsletters およびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- ・ お客様の資格を表示したりアップデートしたり、契約や保証をお客様のプロファイルにリンクしたりするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターの **More Information on Access to Support Materials** ページにアクセスします。

<http://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>

- ❗ **重要:** 一部のアップデートにアクセスするには、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからアクセスするときに製品資格が必要になる場合があります。関連する資格を使って HPE パスポートをセットアップしておく必要があります。

カスタマーセルフリペア (CSR)

Hewlett Packard Enterprise カスタマーセルフリペア (CSR) プログラムでは、ご使用の製品をお客様ご自身で修理することができます。CSR 部品を交換する必要がある場合、お客様のご都合のよいときに交換できるよう直接配送されます。一部の部品は CSR の対象になりません。Hewlett Packard Enterprise もしくはその正規保守代理店が、CSR によって修理可能かどうかを判断します。

リモートサポート (HPE 通報サービス)

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートデバイスでご利用いただけます。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントを Hewlett Packard Enterprise に安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を見つけてください。

リモートサポートおよびプロアクティブケア情報

HPE 通報サービス

<http://www.hpe.com/jp/hpalert>

HPE プロアクティブケアサービス

<http://www.hpe.com/services/proactivecare-ja>

HPE プロアクティブケアサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecaresupportedproducts>

HPE プロアクティブケアアドバンスドサービス : サポートされている製品のリスト

<http://www.hpe.com/services/proactivecareadvancedsupportedproducts>

保証情報

ご使用の製品の保証またはサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報に関するドキュメントを確認するには、下記の Web サイトを参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

追加保証情報

HPE ProLiant と x86 サーバーおよびオプション

<http://www.hpe.com/support/ProLiantServers-Warranties>

HPE エンタープライズサーバー

<http://www.hpe.com/support/EnterpriseServers-Warranties>

HPE ストレージ製品

<http://www.hpe.com/support/Storage-Warranties>

HPE ネットワーク製品

<http://www.hpe.com/support/Networking-Warranties>

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterprise サポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<http://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterprise は、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則 EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACH を含む Hewlett Packard Enterprise 製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/ecodata>

社内プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などの Hewlett Packard Enterprise の環境に関する情報については、次を参照してください。

<http://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterprise では、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、ドキュメントフィードバック担当 (docsfeedback@hpe.com) へお寄せください。この電子メールには、ドキュメントのタイトル、部品番号、版数、およびドキュメントの表紙に記載されている刊行日をご記載ください。オンラインヘルプの内容に関するフィードバックの場合は、製品名、製品のバージョン、ヘルプの版数、およびご利用規約ページに記載されている刊行日もお知らせください。